

(1) フラワー号について

① フラワー号の運行状況について

・ 5 年間のコース別利用状況

年度	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体	
令和元年度	81,945	91,294	130,086	14,811	35,705	65,223	23,298	47,517	489,879	
令和 2 年度	59,240	62,360	93,701	12,476	29,068	42,577	15,691	32,059	347,172	
令和 3 年度	63,034	72,821	108,329	15,478	29,546	44,232	18,849	33,884	386,173	
令和 4 年度	75,567	85,368	119,585	18,285	36,356	45,255	21,871	35,213	437,500	
令和 5 年度	86,391	89,937	130,751	19,370	35,261	51,430	23,699	39,375	476,214	増加率
増減(R5-R4)	10,824	4,569	11,166	1,085	-1,095	6,175	1,828	4,162	38,714	8.8%

令和 5 年度利用者数は 476,214 人、令和 4 年度に比べ 38,714 人、率にして 8.8%の増加となった。

・ 令和 6 年 4 月～9 月のコース別利用状況

年度	広田	共和	中山道	吹上	田間宮	馬室	笠原	常光	全体	
令和 6 年 4～9 月	46,188	47,714	65,912	10,288	19,288	26,609	12,382	20,199	248,580	
令和 5 年 4～9 月	44,233	45,542	66,299	9,471	17,923	26,628	12,273	19,539	241,908	増加率
増減(R6-R5)	1,955	2,172	-387	817	1,365	-19	109	660	6,672	2.7%

年度	利用者合計
令和 6 年度(見込み)	489,000 人
令和 5 年度	476,214 人
増減(R6-R5)	12,786 人

本年度からの新たな運行は、土曜日が平日から休日ダイヤとなる大きな変更となり、コース別では影響の差が出ているが、全体の利用者数は昨年度の同時期と比較し 2.7%の増加となった。

令和 6 年度の利用者数は、約 1 万 3 千人の増加を見込んでいる。

・ 5 年間の収支及び利用者数 ※運行経費には車両更新費は含まない

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数(A)	489,879 人	347,172 人	386,173 人	437,500 人	476,214 人
運行費用(B)	145,698,269 円	141,579,412 円	152,164,912 円	156,750,954 円	165,096,426 円
運行収入(C)	47,591,234 円	36,388,280 円	41,226,990 円	45,698,583 円	48,615,077 円
収支率(C)/(B)	32.7%	25.7%	27.1%	29.2%	29.5%
市補助金額=(B)-(C)	98,107,035 円	105,191,132 円	110,937,922 円	111,052,371 円	116,481,349 円

令和 5 年度の運行費用は、人件費の上昇・物価高騰の影響等により増加となり、それに伴い市補助金額も約 540 万円増加したが、運賃収入が増えたことにより収支率は前年度並みとなっている。

◆土曜日の運行に関する要望について

バス業界では深刻化する運転手不足に加え、時間外労働が規制されることから、フラワー号においては、土曜日を休日ダイヤに変更して運行している。

土曜日の減便に対し、８月２７日、鴻巣市長宛に下記の要望書が提出された。

今後はバスロケーション乗降カウントシステムから得られる利用状況等の詳細なデータを活用し、利用者数の推移を確認しながら、次の見直しに向けて準備を進めていくこととしている。

要望者：地域の通勤・通学等の交通環境を守る会

内 容：コミュニティバス「フラワー号」の改正に対して見直しを求める要望書及び署名

- ・土曜ダイヤを平日ダイヤへ戻す
- ・次回の改正までの間、代替の車両を活用するなど充実を図る
- ・上会下地域の増便

署名数：1,295 筆

◆バスロケーションシステム「BusGO！」の導入について

スマートフォン等でリアルタイムにバスの位置情報やバス停までの到着時刻を確認できるバスロケーションシステム「BusGO!」を導入し、10月1日から順次運用を開始している。

【利用者の不安解消に応じて導入】

スマートフォン等から専用のウェブサイトへアクセスすると、フラワー号の経路とバス停を表示した地図上にバス型のアイコンが実際の運行に合わせて移動し、位置情報のほかバス停までの到着時刻が確認でき、利用者の不安解消や利便性向上につながる。

【乗降カウントセンサーとの連動】

バスロケーションシステムと併せて乗降カウン
トセンサーを設置し連動させることにより、自動
で各バス停単位の乗客数がカウントされる。運転
手不足が深刻な課題となっている中で、運転手の
負担軽減を図るとともに、詳細なデータを活用し、
より効率的で利便性の高いルートやダイヤ設定の
分析・検討を行う。



(画面イメージ)

◆「対象乳幼児の保護者」の特別乗車証発行状況について

安心して子育てができる環境づくりの取組の一環として、令和6年度から新たに「対象乳幼児（2歳到達月の末日までの子）の保護者」を公共交通の割引対象として追加。

特別乗車証発行枚数（４月～９月）	50名(累計)
------------------	---------